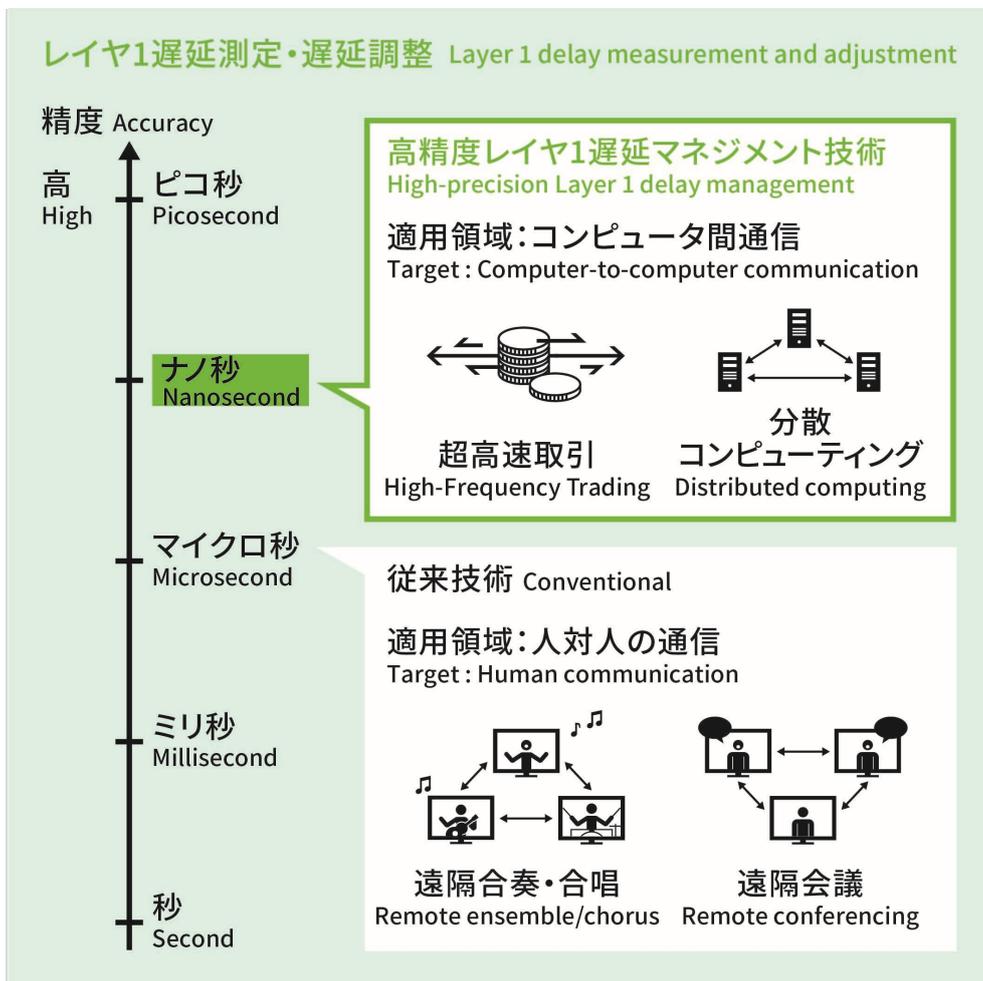


高精度レイヤ1遅延マネジメント技術

ナノ秒精度の遅延測定・調整により高頻度金融取引などにおける通信遅延制御を可能にします

#顧客体験価値向上



///技術課題

従来のレイヤ1遅延マネジメント技術はマイクロ秒精度の性能であり、コンピュータ間通信の遅延制御を行うには不十分でした。

///研究目標

ナノ秒精度の遅延測定・調整により、高頻度金融取引などのコンピュータ間通信のユースケースにおいても通信遅延制御が可能になります。

---要素技術

NTT独自の遅延測定・遅延調整技術を新たに確立し、ナノ秒精度の遅延測定による適応遅延補償をインサービスで実現

---市中技術差異点

従来技術では人対人の通信を対象としており、マイクロ秒精度で十分
提案技術によりコンピュータ間通信にも適用可能なナノ秒精度の遅延測定・遅延調整を実現

---適用ビジネス

情報通信業分野において、高頻度金融取引などのコンピュータ間通信のユースケースにおいてナノ秒精度の通信遅延制御を提供可能
(技術確立予定時期: 2025年)